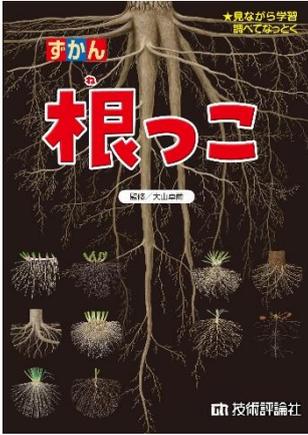


ナルナル的 菌活書評

【ベテラン農家も知らない根っこの生態】



ホウレンソウの根っことは深さ 80 センチまで伸びるって、ご存じでしたか。これまでにあってのも不思議ではない内容の図鑑です。フルカラー 128 ページ、しかも総ルビで子供でも読めますが、専門用語も多く出て

くるので、教えてくれる先生が近くにいるといいですね。中学生ならば、自分で検索して勉強することが出来ます。

樹木や野菜、雑草などの根っこが種によってどのように広がっているか解り易いイラストで描かれています。

※アマゾンに掲載された出版社の紹介ページから。多数のカラーページも紹介されているので是非、ご覧ください。《以下、転載》

植物の下にはこんな世界が広がっているの！? 「植物の根っこ」に焦点をあてた、とても珍しい図鑑です。

毎日見かける木や草。葉や枝が繁ってとってもキレイです。その木や草の下、地面の中って気になりませんか？

根っこって、地面の中でどんな形をしているのでしょうか？実は、根っこの形、それはそれは千差万別。思った以上に意外な形をしています。

とくに樹木は、その重さの約 30%が地面の中。けっこうな部分が「根っこ」として埋まっているんですね。

そんな地中の世界にフォーカスを当てるのが『ずかん 根っこ』。

研究が難しいためにネットでもほとんど情報がない植物の根っこ。

そんな根っこたちが繰り広げるディープな世界をお届けします。本書を見ると、木や草に対する印象ががらりと変わりますよ。

(こんな方におすすめ)・木や草の根っこがどうなっているのか知りたい方・樹木について関心のある小学校高学年以上・地中の世界に興味のある方 《転載おわり》

実は、農家さんにも超おススメの一冊でもあります。植物によって根の張り方が全く異なる事を初めて知りましたし、サトイモの可食部分は茎だったのですね。根の生態が解ると土壤改良や育成方法が格段にレベルアップする事は間違いありません。

価格がやや高いと思うかもしれませんが、手元に置いて読み返したい図鑑です。

樹木の根っこについても樹木医さん初耳な事が沢山書かれています。地上の樹木については知識が豊富でも地下の根っこを知る樹木医さんに会ったことがありません。研究者も少ないジャンルですけど、これからの注目の研究となるでしょう。

図鑑全体が根っこ愛に溢れている本です。

	低い	⇄	高い		
難易度	★	☆	☆	☆	☆
活菌度	★	★	☆	☆	☆
面白さ	★	★	★	★	★
新規性	★	★	★	★	★

書名	ずかん 根っこ
著者	監修 大山卓爾
出版社	技術評論社
発行日	2023/9/25
価格	本体 2680 円+税

